

大谷句佛 （おおくうくふつ） 僧侶、俳人。明治八年（二月）二十七日生れ、昭和十八年（二月）十六日歿（六十五歳一十九日）。本名光演、幼名光養磨、法名彰如。別號愚峰、春坡、獅子窟主人、蕪孫等。道宗大谷派（二十一世法主大谷光聖の次男、明治四十一年（二十二世法主、昭和二年没慮。多藝で特に俳句を能くし、生涯一萬四千句と曰ふ。俳誌『懸葵』主宰。著書、俳句集『我は我』（昭和十二年十月十五日書物展會社）、『句佛上人俳句抄』（未廣愛邦編、昭和二十年二月二十五日京都・大谷派京務所）、『小鏡墨澤』（昭和四十一年十一月一日京都・大谷派京務所）等。

文獻、白野春葉編『光演上人』（明治四十一年五月十五日山形・山形内開教部『佛陀の徳言』第十号）、佐山榮太郎著『人間句佛』（昭和八年十一月十五日大阪屋號書店）等。

